

# 1. 予算編成方針

## 基本方針（令和7年（2025年）9月12日 通知）

- 1 「八王子未来デザイン2040」の実現に向け、事業総点検の結果を踏まえたうえで、「八王子市経営計画」に掲げる重点事業を予算化すること。  
新規・充実事業の予算化にあたっては、証拠に基づく政策立案（EBPM）の手法により、背景にある課題、目的、成果指標等を明らかにし、人件費や後年度負担も含めたフルコストでの費用対効果を検証すること。
- 2 中長期的な視点に立った持続可能な行財政運営を維持していくため、「八王子市経営計画」における経営改革の個別取組を反映すること。  
既存事業の予算化にあたっては、予算規模に関わらず事業遂行のための人件費が発生していることを踏まえ、コスト意識を持ってゼロベースの視点から見直しを検討することとし、費用対効果に見合わない事業や社会経済情勢の変化に適合しない事業については、廃止又はより効果的な事業への再構築を図ること。なお、事業総点検において、令和6年度（2024年度）評価を「達成」とした事業（単年度目標を達成した事業を含む。）については一旦終了とし、事業の目的に照らして振り返りを行い、新たな目標の設定や手法の見直しなど事業の再構築を行うこと。
- 3 「健康経営」を意識した働きやすい職場づくりに向け、既存の業務プロセスの抜本的な見直し（BPR）を実施し、業務の効率化や質の向上を図るとともに、デジタル・トランスフォーメーション（DX）の推進を図ること。
- 4 カーボンニュートラルの達成に向け、省エネルギーや再生可能エネルギーの活用により環境負荷の低減を図るグリーン・トランスフォーメーション（GX）を推進する取組を予算化すること。
- 5 予算要求をするにあたり地方財政計画を意識すること。また、国・東京都の最新情報を捕捉し、確実かつ効果的に財源として活用するとともに、目的税を財源とする事業については、税の趣旨に沿った複数年の事業計画を策定のうえ、予算要求すること。さらに、中核市として、その権限を最大限活用し、独自の事業展開を図ること。